

第8回安中市道の駅整備検討委員会 議事録

日時：令和7年3月19日（水）10:00～11:30

会場：安中市役所本庁舎 3階 305 会議室

1. 開会

発言者	発言概要
事務局	定刻のため、ただ今より「第8回安中市道の駅整備検討委員会」を開催する。 皆様には公私ともにお忙しい中、ご出席いただき深く感謝申し上げます。 前回の委員会において、道の駅における施設配置案と基本計画素案について議論いただいた。施設配置については議論の結果、集約配置を基本とし、整備を進めることになった。本日の委員会では基本計画策定に向けて審議いただく。

2. あいさつ

発言者	発言概要
委員長	早いもので本委員会も第8回となる。前回は施設配置計画の方向性を議論し、さまざまな意見を頂戴して、最終的に基本計画案の中でまとめることができた。配置計画案を眺めてみて、委員会全体の思いが詰まったものになっていると思っている。皆様の建設的なご議論の賜物であり、感謝申し上げます。 本日は基本計画策定に関する議論と、パブリックコメントに対する回答案についての議論となる。皆様からは忌憚ないご意見を頂戴できればと思う。

3. 議事

（1）今年度の議論振り返り

発言者	発言概要
事務局	（説明資料：議論内容ダイジェストを説明）
委員長	第1回～3回は基本構想の策定に関する議論が中心で、第4回以降は基本計画の検討に関する議論を中心に進めてきた。今ご説明をいただいたのは、基本計画策定に関する検討経緯のポイントだったが、何かお気づきの点があればご発言いただきたい。
委員	第5回整備検討委員会で、道の駅は鉄道文化むらと一体的な整備を進めていく旨、方向性として決まったが、色々な声も聞く。入場料の話や市から指定管理料は支払われているが、経営状況を心配される方が多い。鉄道文化むらの皆さんとは今後に向けた話し合いをしているか。従業員の方にとっては雇用が心配との声もある。
事務局	今後に向けた話し合いは未実施である。市としては管理運営する事業者を募集して公設民営により道の駅を運営していくことを考えているので、その事業者の意見も伺ったうえで財団との話し合いになっていくと考えている。現段階で一方的な調整を行うと、管理運営する事業者の意向が反映できないのと、良い提案をいただけない可能性があるため、その意向を踏まえたうえでの対応としたい。

委員	管理運営する事業者とも話し合いをしながら、ということだが、これまでも色々なアイデアを出し合いながら鉄道文化むらの運営を進めてこられた。新たな事業者が入ることで、新しい発想や方向性を基に進んでいく可能性はあるが、個人的な意見として、これから鉄道文化むらにたくさん客が来てもらえるようなご助言をいただかないと意味がないので、その事業者とは異なる専門家等の人材も加えて話し合いをしてもらい、ご意見をいただけるよう要望したい。
委員長	鉄道文化むらで現在働いている方の雇用や経営状況に関して配慮が必要な旨は、本委員会でも何度か話題になった。特に、今働いている方が不利益を被らないような配慮が必要、ということで意見があったが、その点は管理運営する事業者との議論も踏まえながら整理いただければと思う。
委員	第5回委員会で、鉄道文化むらも含めた 7.2ha の規模でやっていく、という話題があり、それは良いとは思っていたが、最終的な内容をみるとこじんまりした印象。最終的な計画案だと概ね 3.5ha で、結局半分程度の規模になっている。試算された概算事業費は約 44 億円であるが、その費用を投じるなら鉄道文化むらも含めて綺麗に再整備して、鉄道文化むらで機能しているものも上手く活用してほしいと思う。鉄道文化むらで働いていらっしゃる方もいるので、その管理も含めるとなると、鉄道文化むらもあわせた議論が必要だと思う。
委員長	当初は鉄道文化むら全体を含めて整備、という話もあったが、予算との兼ね合いの事情もあったと思われる。その点はいかがか。
事務局	鉄道文化むら内には展示車両も多くあり、予算面の関係でなかなか手が付けづらい部分もある。園内遊具のアプトくんやトロッコ列車をうまく活用し、財団も潤えるように考えていきたい。鉄道文化むらと道の駅とで運営手法やノウハウは異なる可能性があり、民間事業者の意見も踏まえながら鉄道文化むらも十分存続できるように対応していきたい。そのためには財団の協力も賜っていきたい。
委員	鉄道資料館をリニューアルする、という話もあったが、それならばさまざまな展示車両をゲート側（東側）まで持ってきて、うまく使えるようにしてはどうか。その辺りを考慮すると、西側の敷地を広々と使えるようになると思うので今後検討されてはいかがか。
事務局	展示車両についてはなかなか簡単に移動できないが、入替等も考えられると思う。ご意見として参考にさせていただく。
委員	施設配置計画について説明を伺ったが、図面の中に既存の ATM が反映されていない。これは今まで通りの機能として保持されるのか。
事務局	現在 ATM が置いてある場所での建物建設は予定していないので、ATM に関しては金融機関と調整し、必要に応じて設置を検討する。
委員	地元住民のニーズは高く見られるので、引き続き配置してほしい。

（２）基本計画（案）の修正について

発言者	発言概要
大日本 DC	（基本計画案の修正箇所の概要を説明）
委員長	大きな修正・変更点について説明をいただいたが、何か確認事項や質問はあるか。

委員	37 頁の施設配置計画図で交通広場が図示されており、ここは既存のロータリーが残ると思うが、災害発生時に国道 18 号が通行止めとなったとき、車両が U ターンするための空間を確保するという考えもあると思う。この交通広場でトレーラーやトラック等の大型車両が転回できるのか。
事務局	交通広場で U ターンできる車両についてはここで対応するが、対応できない大型車両などについては道の駅の敷地全体を使って対応するものと想定している。
委員	改めて計画書全体を確認したが、施設配置計画については平面図しか提示されていない。この土地は標高差がかなりあり、平面図だけでなく横断図や断面図等も援用しながら、計画の中でも示された方が良いかと思った。37 頁の「計画の狙い」でも、「計画予定地は東西に細長く高低差もあるなど、さまざまな敷地的制約がある」と示されているが、高低差に関する言及はここだけである。これを見た方が、「なぜここにエレベーターがあるのだろう」と疑問を持たれる可能性もある。追加できるのであれば、対応した方が親切だと思う。
事務局	現在の計画で、最も標高が低いのは東側の大型車両等が駐車する空間であり、その西側の車路で勾配を付け高低差を解消する考え方としている。横断図等を掲載しなかったのは、かえって混乱を招かないかを懸念したためである。 パブリックコメントでも質問をいただいているが、その回答として、イメージパース等、高低差の様子がわかる資料も活用しながらそのイメージを提示したいと思う。本日の委員会でも最後にご説明したい。
委員	前回委員会でオブザーバーからも指摘があった出口の件だが、できれば災害発生時でも臨時的に出られる空間を確保した方が良いと思う。東側の出入口の設置については、横川交差点からの距離が十分に確保できないから難しい、という指摘もあったと思う。この敷地内全体を使って転回するという考えも示されたが、トレーラー等の大型車両の場合、難しいと思う。できれば、横川交差点が近い東側でも出口を設けた方が良いと思う。
事務局	現在の施設配置計画図でも、東側から出入りできる計画としている。ただし、通常時は入出庫できないようにし、有事の際に出入口として活用できるようにする。
委員	フルトレーラーでもここ（東側の出入口）から出庫できるのだろうか。現状の市道も狭すぎると思うし、通行できないのではないか。ここで出られなくなると、後続の車両が詰まってしまい動かなくなる。
事務局	計画予定地東側の市道はご指摘のとおり道幅が狭く、仮に市道の拡幅ができたとしても、横川交差点や右折レーンも含めた国道の拡幅工事が困難であるため、文化むら側をメインの出入口に位置づけている。
委員	横川の街中の県道を通行する車両が増えてしまう点も考慮しながら考えた方が良いと思う。それが難しいのであれば、道の駅の敷地を少しでも北側に寄せて道路の用地を確保する、ということも考えられるかと思う。
事務局	東側の出入口については、有事の際のみ運用することで考えている。市道拡幅は可能だと思うが、その点も含めて考えていきたいと思う。
委員	東側の市道は幅員がかなり狭い。トレーラーが U ターンしようと思うと、かなり拡幅して対応しないといけないかと思う。横川交差点から JR の高架（トンネル）

	までも距離が短いため、トレーラーが1台出庫すると後続の車両が出ていけないかと思われる。
委員長	有事の際の出入口や市道の取扱いについては、基本計画の中でもある程度言及はあった方が良いでしょうと思うが、いかがか。
事務局	出入口については、国土交通省や警察とも十分に協議・相談しながら検討させていただきたい。
委員	農産物直売所の正面入口は北側とのことだが、南側に、生産者等が搬入出するための駐車場（待機スペース）が空間として確保されていないように見える。
大日本 DC	いわゆるバックヤードについては、図面の中で農産物直売所・物産販売所周辺に点線で示している空間を搬入出の車両の場所として示している。
委員	バックヤードだけでなく、生産者が駐車できるスペースをきちんと確保した方が良いでしょうと思った。その点は引き続き検討いただければと思う。
大日本 DC	ご指摘のとおり、利用客だけでなくここでお勤めの方に対する配慮も欠かせないと思うので、今後の検討事項として整理しておきたいと思う。
委員	バックヤードを確保しているとのことだが、農産物直売所や飲食施設を南側に寄せることはできないのか。そうすれば、北側に空間的な余裕が確保でき、車両が駐車してあっても出入りがしやすくなると思う。
副委員長	この計画の趣旨は、バックヤードとお客さんの利用動線を分ける、というところに基づいている。このあたりの詳細な検討は基本設計の範疇になってくると考えられる。
委員	具体的に検討した際に「上手く配置できない」という話も想定されるのではないかと思った。
副委員長	今回はあくまで「基本計画」であり、基本設計の段階になると、皆さんが懸念されている部分の詳細な検討も行われる。
委員	計画段階とはいえ、その部分も考慮しておいた方が良いでしょうという趣旨である。
委員	これまで皆さんが議論されていた内容を聞いていて思ったのが、この基本計画でどこまで書き込んでおくか、ということである。基本計画段階では「泳がせられる」ような表現になっているのが望ましい。現在計画されているバックヤード動線では不十分だと思う。というのは、トラックが停車していると、それを追い抜かせるような運用ができるようになっていなければならない、その幅員が不足している。直売所の背面に給排水や電気設備や冷蔵・冷凍設備、場合によっては従業員の休憩スペースなど、想像以上にスペースが必要だと想定される。ただ、その話は基本設計の段階で詰めればよく、基本計画の段階で細かく詰めるのは難しいと思う。委員長のご指摘のとおり申し送り事項に位置づけるのが良い。
委員長	今ご議論いただいた内容については、基本設計に向けた申し送り事項として整理させていただきたい。
委員	施設配置計画で集約型の考え方を図化されたと思うが、文化むら側から入庫してすぐに見えるのが道路休憩施設となっている。その後、観光案内所や飲食施設、物産販売所、という並びになっているが、集約型になっているとはいえこの配置でいいのだろうか。もっと、飲食施設や農産物直売所等を計画予定地の西側、い

	わゆるコアエリアに持ってくるべきである。確かに道路休憩施設についても、休憩機能としての利用は見込めると思うが、直接的な利益を生むような施設ではないため、入れ替えた方がいいのではないかと、ということを常々申し上げている。皆様のご意見を加味されたうえでの結果であれば仕方ないと思うが、今の観点で施設配置については疑問が残っている。
委員長	技術的な観点も加味しての現在の計画だと思うが、いかがか。
事務局	現在計画しているのは「道の駅」であり、ドライブインや商業施設ではなく「道路休憩施設」が第一条件だと捉えられる。各地の道の駅でも、トイレや道路情報発信施設等が駐車場のすぐそばにあるのが多く、それと抱き合わせる形で物販やレストランが整備される、というものだと思う。そういう考えのもと検討した結果、という回答になる。
委員	考え方次第で、施設配置のパターンは複数考えられると思う。計画予定地の中で一番いい場所に、果たして道路休憩施設を持ってこなければいけないのか、というところが腑に落ちない。
委員長	設計の段階で、懸念されている点をどのように解消していくのが良いか、というところを検討していく形になると思う。
オブザーバー	今の事務局の説明の中で、あまりにも道の駅を「道路休憩施設」として捉えすぎるのはいかがかと思った。道路休憩施設に対し、この地の独自の要素が色々組み合わせられて初めて道の駅になる。基本計画にあるとおり、「ここを目的地にしたい」という発想があるならば、単にトイレに寄ってもらうだけでいいのか、と思う。いろんな議論がある中で、歩行者動線をどう確保するかが重要であり、どこの道の駅でもこの点に趣向を凝らしている。入ってすぐのところに駐車場やトイレだけが配置されていると、車を停めてトイレに寄って、そのまま帰ってしまうと思う。究極論を言うと、この場所のメインとなる施設の前を通ってはじめてトイレに行ける、とすれば、必ずメインの施設を目にする機会を生み出すことができる。先ほど議論があった、どの配置が正しいのかはわからないが「道の駅はそもそも休憩施設だ」という説明だと、寂しい道の駅になってしまうのではないかと感じた。そのようなことを念頭に置いて検討されてはどうかと思う。
委員長	駐車場の配置については、農産物直売所や物産販売所に来る人がすぐに利用できるよう近くに駐車場を確保する、という考え方で整理されていたかと思う。そのあたりは、改めてどのように捉えているか。
事務局	今のご指摘のとおりであり、それに加え、農産物直売所や物産販売所が国道側からも直接視認できるという点も見込んで、今回の配置とさせていただいている。また、観光バスの利用客で、トイレにだけ立ち寄って帰られるということもあるため、トイレのそばに物産販売所等の配置が望ましい、というご意見もあった。そういった意見を勘案しこの配置とした。
オブザーバー	配置云々よりも、説明の仕方への配慮が大事だと思った。
委員	事業に携わる方が「ここでやって良かったね」となれば良いが、メインの場所に配置されるのが道路休憩施設になってしまうと、生産者や商売人の皆さんが「本当にこの場所なの？」とならないか心配である。

委員	以前もお話したが、鉄道文化むらに來られて半日や一日過ごしていられる方もあるので、アプトくんとトロッコ列車の乗車位置を集約できればいいのではないかと考えている。道の駅の施設が鉄道文化むらの一番奥まであるならば、奥まで歩いてアプトくんに乗ってもらいやすくなると思うが、収益をもたらす機能でもあるので、なるべく道の駅からすぐ見える場所で乗降できれば良いと思った。
委員	敷地内で勾配があるため、アプトくんは高架を走る区間がある。このため、そこに合わせて乗り場を作るのか、あるいは高架を下げるとなると地上を走行させることになる。いずれにしても、構内のスペースを上手く活用して対応する必要があるが、建設費が膨大となる。
事務局	今いただいたご意見の観点は、今後の検討の参考とさせていただきたい。
委員	鉄道文化むらの構内にある資料館の改修においては、建て替えを想定されているということだが、3階建ての施設でレストランはフードコートが入ると思うが、どのような形になりそうか、現時点での想定があれば教えてほしい。
事務局	現在の施設配置では、平均的な規模を基に設定し整理しているため、どのような形のレストランでどのような仕様にするか等の話は、財団も含めて管理運営する事業者の提案をいただきながら今後検討していきたいと考えている。
委員	できるだけ鉄道文化むら側でも集客できるようにしないと経営が厳しくなると思うので、ぜひ考えてほしい。
委員長	基本計画（案）の内容についてご議論をいただいた。東側の出入口に関する記載をするかどうかは事務局で検討いただくこととし、基本計画は今回報告のあった内容で取りまとめることでよいのか。
全委員	異議なし。
委員長	それでは、基本計画の内容について了承をいただいたものとする。

（３）パブリックコメントの回答（案）について

発言者	発言概要
事務局	（パブリックコメントの結果概要を説明）
委員長	今回、市民の皆様からさまざまなご意見を頂戴した。それに対する回答方針について事務局から説明をいただいたが、ご意見やお気づきの点はあるか。
委員	項目 No.30、動線について「文化むら～横川駅の動線の改善、及び横川駅～道の駅の動線（南口改札など）の新設」とのご意見があり、「今後の参考にする」と記載があるが、どのように受け止めているのか。南側改札の検討も今後視野に入れるのか。
事務局	文化むらに向けての動線は県道をまたぐ形になっており、道路管理者や交通管理者との協議のうえ、そこをどうするかについて歩道だけでなく歩道橋等の必要性も視野に入れ、話し合いの場を設けて検討していきたいと思う。南側改札は、この場所で設置できるか否かがあるので、必要性や費用対効果を勘案し、JRと相談しながら対応していきたい。
委員	足の悪い方や、ここまで電車で来られる方でお年寄りの方などからすると、不便な部分もあるので、南口改札を設けるのも一つの選択肢かと思った。また、駅を

	出てからお店もいくつかあるため、そこをまわってもらうという動線の作り方も有効だと思う。
委員長	横川駅南口に改札を設けるのは、実現可能性があるのか。
オブザーバー	改札口新設となると、利用者等の要望を受けて検討するケースはあるが、具体的な相談をいただかないと現時点では検討も回答も難しい。ただ、横川駅は水平移動ができる形状となっているので、他の鉄道駅と比べると動線的には支障は少ないと思う。そういった点も含め、市と議論させていただければと思う。
委員長	パブリックコメントの回答案についてご確認をいただいたが、今回報告のあった内容にて対応していくことでよいか。
全委員	異議なし。
委員長	それでは、この内容で了承をいただいたものとする。 以上をもって、議事を終了し議長の任を解かせていただく。間違えご議論をいただけたことに感謝する。

4. その他

発言者	発言概要
事務局	各委員から何かご質問等はあるか。
委員	色んな意見・要望が出てくると思うが、それに対して、基本的なコンセプトはしっかり持って対応していくのが良いと思う。 気になっているのが、道の駅は大型トラックの運転手にとって「休憩」する場から「休息」の場、という概念に変わってきている。「休息」だとすると、少し立ち寄るという意味ではなく、しっかり休む場所としてその在り方が変わってくると思う。 搬入路と搬出路（例：納入する人の動線、ここで働く人の駐車場の動線、お客さんの流れ等）は精査した方が良い気がしている。具体的な行動を基にした、ニーズに対応した動線をしっかり考えた方がいい。 特に、農産物や資材等の納入の動線とお客さんの動線は分けた方が良い。そのための駐車場はどうするかなど、参考までに申し上げておきたい。
事務局	設計段階で、来場者や働く方の目線に立った検討をしていきたいと思う。
委員	今後の設計に向けた申し送りとして申し上げたい。 基本計画はここまでだと思うが、配置の議論が多くあった中で、客単価を考えていくと、詳細な配置が見えてくると思う。トイレを奥にすると売り上げが上がる、といった心理的な側面もある。公共事業であるため、概算事業費である 44 億すべてを回収する必要はないが、鉄道文化むらへの入園料と飲食で仮に 1 人あたり 2,000 円消費するとして、集客 10 万人だと約 2 億円の売り上げになる。そのうち 5,000 万円の利益が出ると仮定しても、ややおかしい事業計画になる。飲食で来られた方が「ついで買い」をするとして客単価を上げるのか、それとも集客数を増やすのか。その辺りを詰めると、配置についても見えてくるかと思う。これまでも議論は丁寧に積み上げてこられたが、決して「利益重視」という観点ではなく「顧客満足度の向上」に向けて建設的にご議論いただくのが良いと思う。

事務局	今のご指摘を心に留めて、今後の設計に移っていきたいと思う。 最後に、基本計画における現時点でのイメージ図をお配りし、その内容について紹介したいと思う。
大日本 DC	(整備イメージ資料を説明)
事務局	こちらは現時点でのイメージ図となるため、参考資料としてお持ち帰りいただきたい。 基本計画とパブリックコメントへの回答は、承認いただいた内容で確定とさせていただきます。基本計画は、メールや郵送等で皆様にお渡ししたのち、市ホームページで公表していく運びとする。

5. 閉会

発言者	発言概要
事務局	以上をもちまして「第8回安中市道の駅整備検討委員会」を終了する。 皆様には、昨年度からの2年間、道の駅基本構想及び基本計画の策定で大変お世話になった。当委員会は、基本構想及び基本計画の策定に必要な事項に関して検討を行うものであり、基本計画の策定が完了となる今委員会をもって解散となる。 長きに渡り、安中市道の駅の整備事業に対してご意見・ご提案いただき感謝申し上げます。今後も引き続きご支援賜れば幸いです。

以上